

①目的

スリム化ガイドの周知状況や活用状況等を把握し、その効果を
確認するとともに、今後のフォローアップ検討に資する

②形式

・WEBアンケート

③対象者

・受注者(工期末が令和7年11月1日以降の工事)

④時期

・R7年12月1日～12月19日

⑤回答件数

・290社／対象488社(回答率:59.5%)
(491件／対象1175件(回答率:41.8%))

※アンケート結果は、受注者からの回答を集計したものであり、事実確認を行ったものではありません。

土木工事電子書類スリム化ガイド アンケート調査結果のポイント

- スリム化ガイドの認知度(Q1-1)は、99%が「知っている」と、認知度は高い。
- スリム化ガイドの分かりやすさ(Q2)は、94%が「わかりやすい」と、工事書類のスリム化(簡素化)に寄与していることを確認。
- 設計審査会(工事着手前)開催方法(Q4)は、約4割が「WEB会議」、「WEB・対面併用」との回答より、WEB会議の活用で、受・発注者双方の移動時間などの負担軽減を図るため、引き続き、積極的な活用を促す。
- 設計図書修正(構造計算を伴うものや大幅な修正)対応(Q4-2(1))は、約1割が「役割分担が発注者であったが受注者が対応」し、かつ費用負担(Q4-2(2))は、約3割が「費用をみてもらえなかった」と、引き続き、「設計変更ガイドライン」の周知徹底が必要。
- いわゆる「ローカルルール」による不要書類の作成指示(Q6-5)は、4%が、「独自書類・様式の指示あり」とし、引き続き、ローカルルールによる不要な書類を作成させないよう周知徹底する。
- 工事書類作成に関する改善要望について、約1割の受注者より意見があり、特に施工体制台帳に関するものが多く、改善要望踏まえ、スリム化ガイドを更新し、充実を図る。

Q1-1 スリム化ガイド認知度

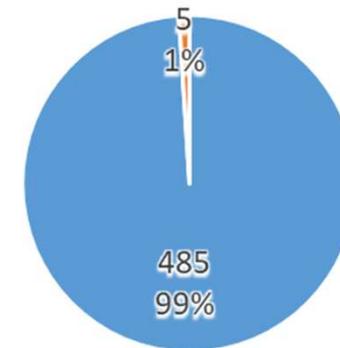
【アンケート結果】

スリム化ガイドを“知っている”という回答が99%。

“知らない”という回答も僅かにあったが、スリム化ガイドは受注者には浸透していることが確認できた。

スリム化ガイドを知っていますか

(択一回答)
n=490



■ 知っている ■ 知らない

Q1-2 スリム化ガイド情報入手方法

【アンケート結果】

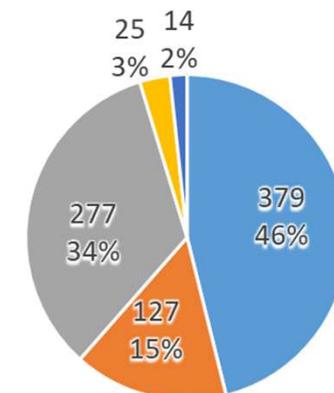
- 発注者からの情報提供 46%
- 関東地方整備局ホームページ 15%
- 事務所や出張所のパンフレット置き場 34%
- 建設業団体からの情報提供 3%

【その他】・会社からの配布など

発注者が、受注者に対し積極的に情報提供し、周知できていることが確認できた。

スリム化ガイドの情報をどのように入手しましたか

(複数回答可)
n=822



■ 発注者からの情報提供 ■ 関東地方整備局ホームページ
■ 事務所や出張所のパンフレット置き場 ■ 建設業団体からの情報提供
■ その他

土木工事電子書類スリム化ガイド アンケート結果について

Q2 スリム化ガイドわかりやすさ

【アンケート結果】

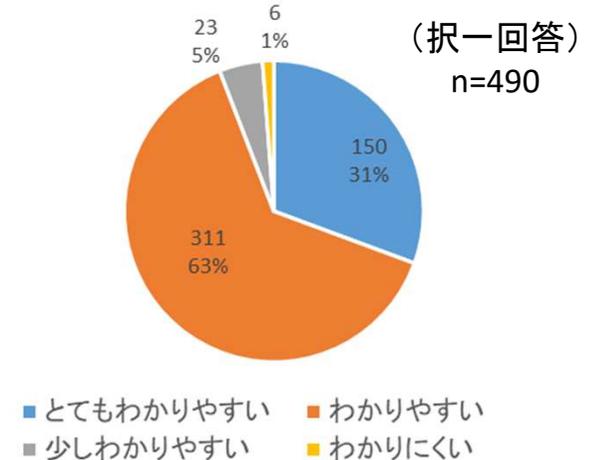
“とてもわかりやすい”、“わかりやすい”という回答が94%。

【主な意見】

- ◇ 具体的事例もあり、記載内容がわかりやすかった。
- ◇ 実際の写真や図、フローなどが記載されているので理解がしやすい。また、内容については、項目ごとにポイントを絞って記載してあるのでわかりやすい。
- ◆ 必要不必要の詳細がいまいち分からない場合がある。

スリム化ガイドは受注者から“わかりやすい”と好評を得ており、工事電子書類のスリム化(簡素化)に寄与していることが確認できた。

スリム化ガイドのわかりやすさはどうでしょうか



Q3-1 設計審査会(工事着手前)開催状況

※スリム化ガイドでは、工事着手前の設計審査会において、受発注者間の書類作成の役割分担を明確化することとしています。

※維持工事を含む全ての工事を対象とし、スリム化ガイドにおいても記載し周知を図っているところです。

【アンケート結果】

(維持工事以外)

“開催された”、“今後開催予定”という回答が93%。“開催されていない”という回答が4%。

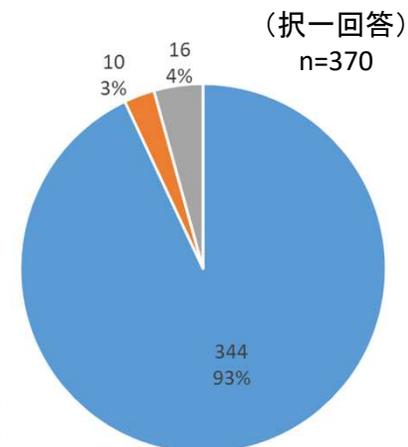
(維持工事)

“開催された”、“今後開催予定”という回答が84%。“開催されていない”という回答が15%。

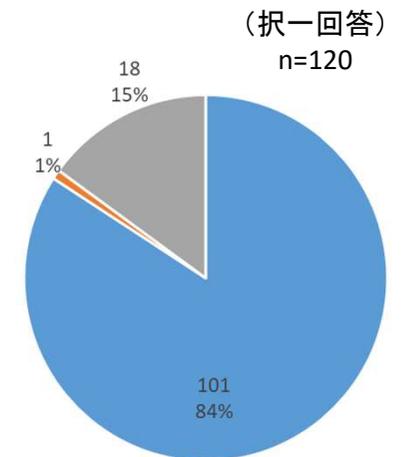
維持工事では、工事着手前の設計審査会が開催されていない事例が15%あることから引き続き、全ての工事において設計審査会を開催するよう、周知徹底を図る。

設計審査会(工事着手前)は開催されましたか

維持工事以外



維持工事



■ 開催された(維持工事以外)
■ 今後開催予定(維持工事以外)
■ 開催されていない(維持工事以外)

■ 開催された(維持工事)
■ 今後開催予定(維持工事)
■ 開催されていない(維持工事)

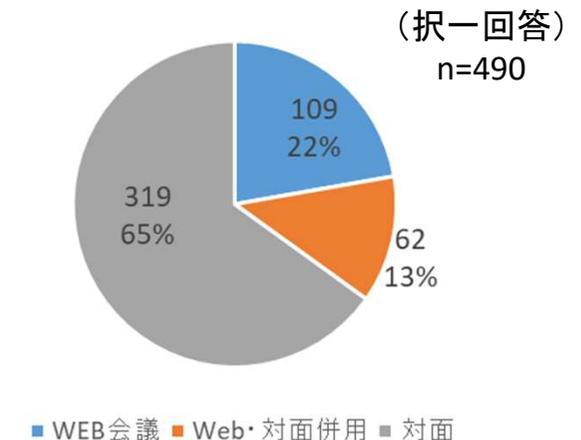
Q3-2 設計審査会(工事着手前)開催方法

【アンケート結果】

- Web会議による開催 22%
- Web・対面の併用開催 13%
- 対面開催 65%

Webシステムを活用しているのは約4割と半数以下であったことから、更なる時間の有効活用を図るため、積極的なweb活用を引き続き推進する。

設計審査会(工事着手前)はどのような方法で開催しましたか



Q4-1 設計審査会(工事着手前)における役割分担の明確化

【アンケート結果】

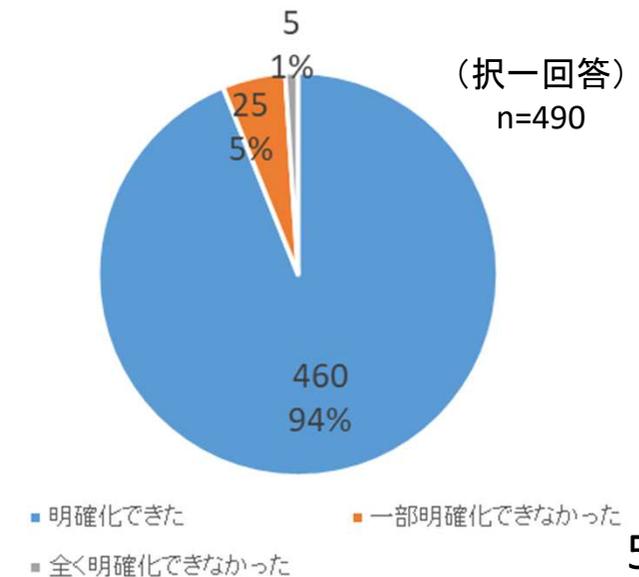
- “明確化できた”という回答が94%。
- “一部明確化できなかった”という回答が5%。
- “全く明確化できなかった”という回答が1%。

【明確化出来なかった理由】

- ・設計審査会で役割分担したが、発注者がおりに実施しなかった。
- ・役割分担が曖昧にされ、発注者の都合のいい解釈をされた。
- ・役割分担どおりに実施したが、発注者から資料作成に対する過度な要求があった など

一部を除き、ほとんどの工事で明確化できていることが確認できた。

書類作成の役割分担は明確化できましたか



土木工事電子書類スリム化ガイド アンケート結果について

Q4-2(1) 設計図書修正(構造計算の伴うものや大幅な修正)についてどのように対応しましたか。

【アンケート結果】

役割分担が発注者であり発注者が対応 29%

役割分担が発注者であったが受注者が対応 6% → [Q4-2\(2\)へ](#)

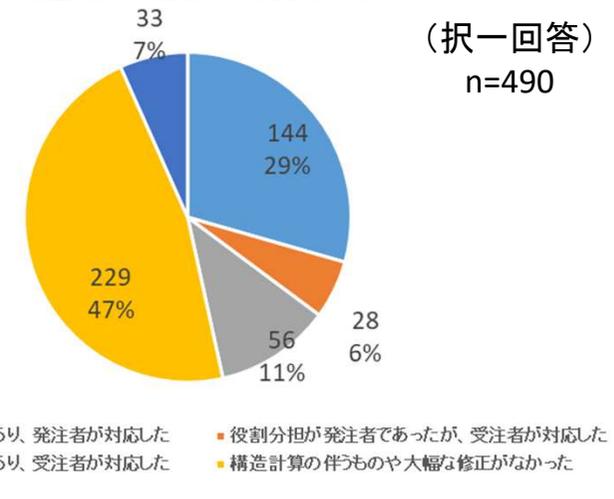
役割分担が受注者であり受注者で対応 11%

構造計算の伴うものや大幅な修正がなかった 47%

【その他】・個別の図面修正等について受発注者間で協議し役割分担を決定。

・多少の修正について、役割分担通りであった。 など

条件明示と現地の不整合の対応



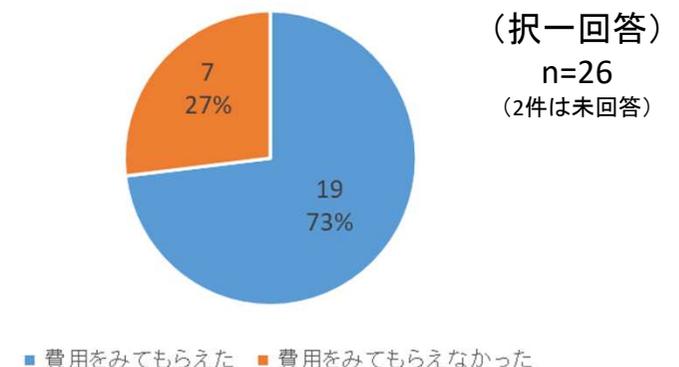
Q4-2(2) 構造計算の伴うものや大幅な修正について、「役割分担が発注者であったが受注者が対応した」を選んだ場合の費用負担

【アンケート結果】

費用を見てもらえた 73%

費用を見てもらえなかった 27% → [Q4-2\(3\)及び\(4\)へ](#)

役割分担が発注者であったが、
受注者が対応した場合の費用負担



土木工事電子書類スリム化ガイド アンケート結果について

Q4-2(3) 費用を見てもらえなかった場合の、具体的に実施した、設計図書の修正内容(構造計算の伴うものや大幅な修正)

【主な事例】

- 1) 照明と信号機の共架柱の強度計算。
- 2) 大型標識の強度計算。
- 3) 堤防法線ではなく測量法線で図面が書かれていたので、平面図・横断図の書き直しを行った。

Q4-2(4) 費用を見てもらえなかった理由

【アンケート結果】

過度な負担ではなかったため請求しなかった 28%

発注者側で「構造計算の伴うものや大幅な修正ではない」と判断された 29%

発注者側が計上し忘れた 0%

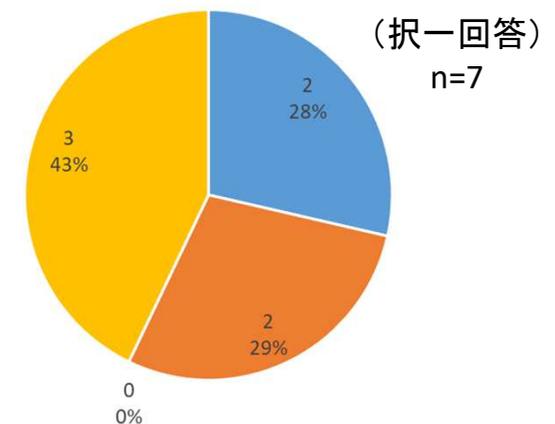
その他 43%

【その他】・協議中

・費用の請求をどのように行えばよいかわからなかった。

請求しなかったケースが28%あることから、引き続き設計変更ガイドラインの周知徹底を図る。

費用を見てもらえなかった理由



- 過度な負担ではなかったため請求しなかった
- 発注者側で「構造計算の伴うものや大幅な修正ではない」と判断された
- 発注者側が計上し忘れた
- その他

土木工事電子書類スリム化ガイド アンケート結果について

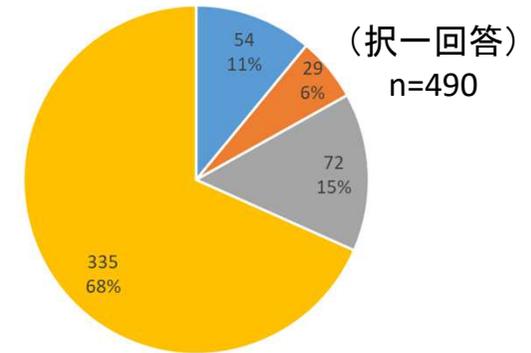
Q5-1 工事打合せ簿や設計審査会での説明の際に、動画や遠隔臨場を活用しましたか

【アンケート結果】

- 活用した(受注者から動画や遠隔臨場の活用を発議) 11%
- 活用した(発注者から動画や遠隔臨場の活用を発議) 6%
- 実施を検討中 15%
- 実施していない 68%

→ Q5-2へ

工事打合せ簿や設計審査会での説明の際に、動画や遠隔臨場を活用しましたか



■ 活用した(受注者から動画や遠隔臨場の活用を発議) ■ 活用した(発注者から動画や遠隔臨場の活用を発議)
■ 実施を検討中 ■ 活用していない

Q5-2 Q5-1の質問にて「活用した」を選択した場合の効果

【アンケート結果】

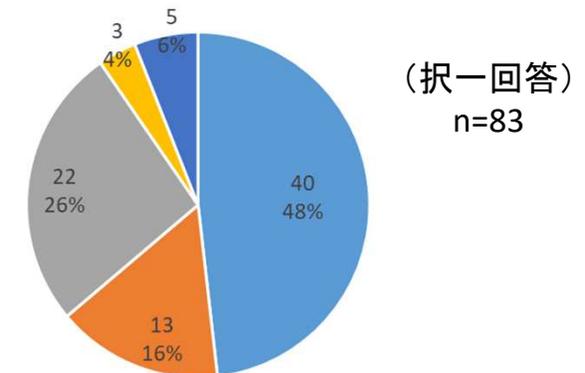
- 説明時間の短縮に効果があった 48%
- 説明資料の削減に効果があった 16%
- 説明時間の短縮、説明資料の削減両方に効果があった 26%
- 今回は効果が無かった 4%
- その他 6%

【その他】・当現場が非常に通信状態が悪く、遠隔臨場が機能できませんでした。別の方法を検討中です。

・移動時間の削減になった。など

説明時間の短縮や説明資料の削減を目的に、引き続き動画や遠隔臨場の活用を推進する。

前の質問にて「活用した」を選択した場合の効果



■ 説明時間の短縮に効果があった ■ 説明資料の削減に効果があった
■ 両方に該当 ■ 今回は効果が無かった
■ その他

Q6-1 発注者側から、スリム化ガイドの目的に明らかに逆行もしくは記載内容に明らかに反した指摘を受けた事例

【主な事例】

- ・工事検査時、「書類限定検査」10書類以外の書類(契約書、コリンズ、建退共等々)の確認があり、事前通知がなかった。
- ・検査の際、電子データで検査を行い、別途、紙の書類の提示を求めないこととなっているが、キングファイル3部用意するように指示があった。
- ・工事完成図の紙媒体での納品。
- ・検査時、工事概要書等を求められた。
- ・金曜日の午後に資料作成・修正依頼があり、その期限が月曜日の午前中ということがあった。
- ・提出義務のない、立会等写真撮影で『一応撮るところ』ということが多々あった。
- ・19時以降など時間外の連絡が多い。
- ・材料確認は設計図書において指定された材料のみで良いところ、指定材料が曖昧なため適宜指定材料以外も実施した。

「土木工事電子書類スリム化ガイド」及び「土木工事電子書類作成マニュアル」は特記仕様書に基づく”契約図書”であることを周知徹底します。

Q6-2 Q6-1の指摘を受けた際、スリム化ガイドを発注者側に見せて解決しましたか

【アンケート結果】

解決した 27%

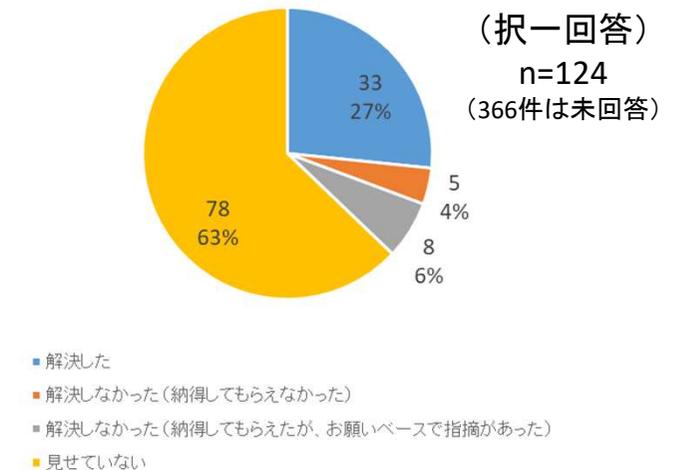
解決しなかった(納得してもらえなかった) 4%

解決しなかった(納得してもらえたがお願いベースで指摘があった) 6%

見せていない 63%

スリム化ガイドを発注者側に見せていないケースが過半数となっていることから、スリム化ガイドに反する指摘等があった場合の運用を今後検討します。

スリム化ガイドを発注者側に見せて解決しましたか



Q6-3 スリム化ガイドの記載について、発注者側で都合のいい解釈をされた事例

【主な事例】

- ・中間検査時に検査官が不必要な書類を求められた(応急処理工での詳細な管理表等)。
- ・軽微なものも施工計画の提出を求められた。
- ・協議資料に添付する書類について多数の写真、詳細図面、比較表等の過度な資料を要求された。
- ・協議資料に関する書類は必要最小限かつ簡潔で良いとなっているが、現場技術員が理解できないとの理由で詳細図面を要求される。
- ・打合せ時に多数の図面、技術職以外でも分かるような絵・文章の作成、写真を必要とされた。

スリム化ガイドの内容を発注者側で拡大解釈し受注者へ過度な負担とならないよう周知徹底します。

Q6-4 発注者側から、スリム化ガイドに記載がないが受注者にとって過度な負担もしくは作業の手戻りとなるような指摘を受けた事例

【主な事例】

- ・スリム化ガイドや書類作成マニュアルに明記がないが、自社の様式で作成したところ過年度資料や他業者のものと合わせるように指示され、作業の手戻りが生じた。
例) 週休2日制の報告書、工事のお知らせ(回覧チラシ)、週間工程表の様式、設計照査様式、設計審査会資料 など

【その他の負担となった事例】

- ・昼夜間の作業検討協議書を作成したところ、他社と書き方を揃えてほしいとの差戻があり、手戻りが生じた。
- ・設計審査会で発注図の誤記載修正や記載不足について、発注者が修正する(口頭)としたが、結果的に変更図として受注者が修正した。
- ・追加内容の資料を受領した際、該当施工内容以外の資料を多く含まれており、指示内容の詳細範囲等を再度確認したり、そもそもの該当内容を探すのに非常に時間がかかった。
- ・工事履行報告書において、実施工程%の根拠を求められた。
- ・説明資料と称して、全体工程表の修正を何度も求められる。
- ・設計変更資料の提出が休日等を考慮した期限を頂けなかった。

受注者の作業の手戻りにならないよう、様式の指定が必要な場合は速やかに行うことを周知徹底します。
また、受注者にとって過度な負担とならないよう、引き続きスリム化ガイドの改善等を図ります。

Q6-5 いわゆる「ローカルルール」により、スリム化ガイドで不要としている書類を作成させられましたか

【アンケート結果】

はい 4%

いいえ 96%

【具体的な書類名】

- ・施工業者の見積書(施工体制台帳に添付した。) ・簡易な施工計画書
- ・幹部会資料 ・工事完成図の製本 ・本局説明用のパワーポイント資料
- ・月ごとの履行報告用の実施工程表 など

いわゆる「ローカルルール」により、スリム化ガイドで不要としている書類を作成させられましたか



Q6-6 いわゆる「ローカルルール」により、土木工事書類作成マニュアルに基づく標準様式と異なった独自様式の指定はありましたか

【アンケート結果】

標準様式の代わりに、独自様式を指定された 1%

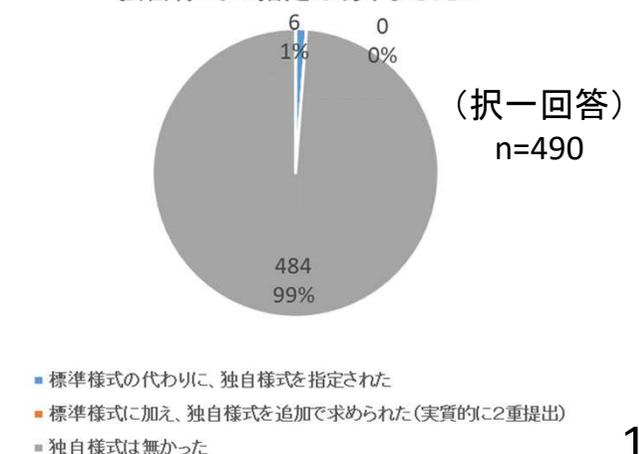
標準様式に加え、独自様式を追加で求められた(実質的に2重提出) 0%

独自様式は無かった 99%

【標準様式以外で独自様式を指定された具体的な様式名】

- ・週間工程表
- ・応急処理作業日報
- ・日報等 など

いわゆる「ローカルルール」により、土木工事書類作成マニュアルに基づく標準様式と異なった独自様式の指定はありましたか



Q6-7 Q6-6の質問で「独自様式を指定された」を選択した場合、監督職員等から事前の様式指定はありましたか

【アンケート結果】

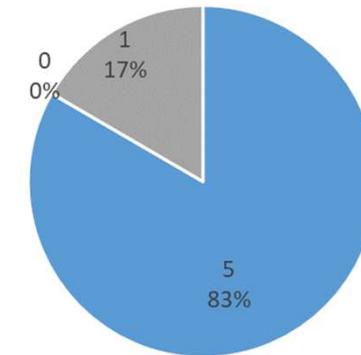
事前の指定があった 83%

事前の指定がなく、作業の手戻りが生じた 0%

独自様式であるのを元々知っていた 17%

受注者の作業の手戻りにならないよう、様式の指定が必要な場合は速やかに行うことを周知徹底します。

独自様式を指定された場合、監督職員等から事前の様式指定はありましたか



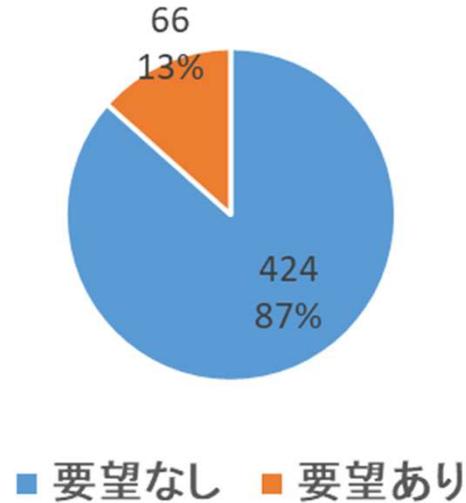
■ 事前の指定があった
■ 事前の指定がなく、作業の手戻りが生じた
■ 独自様式であるのを元々知っていた

土木工事電子書類スリム化ガイド アンケート結果について

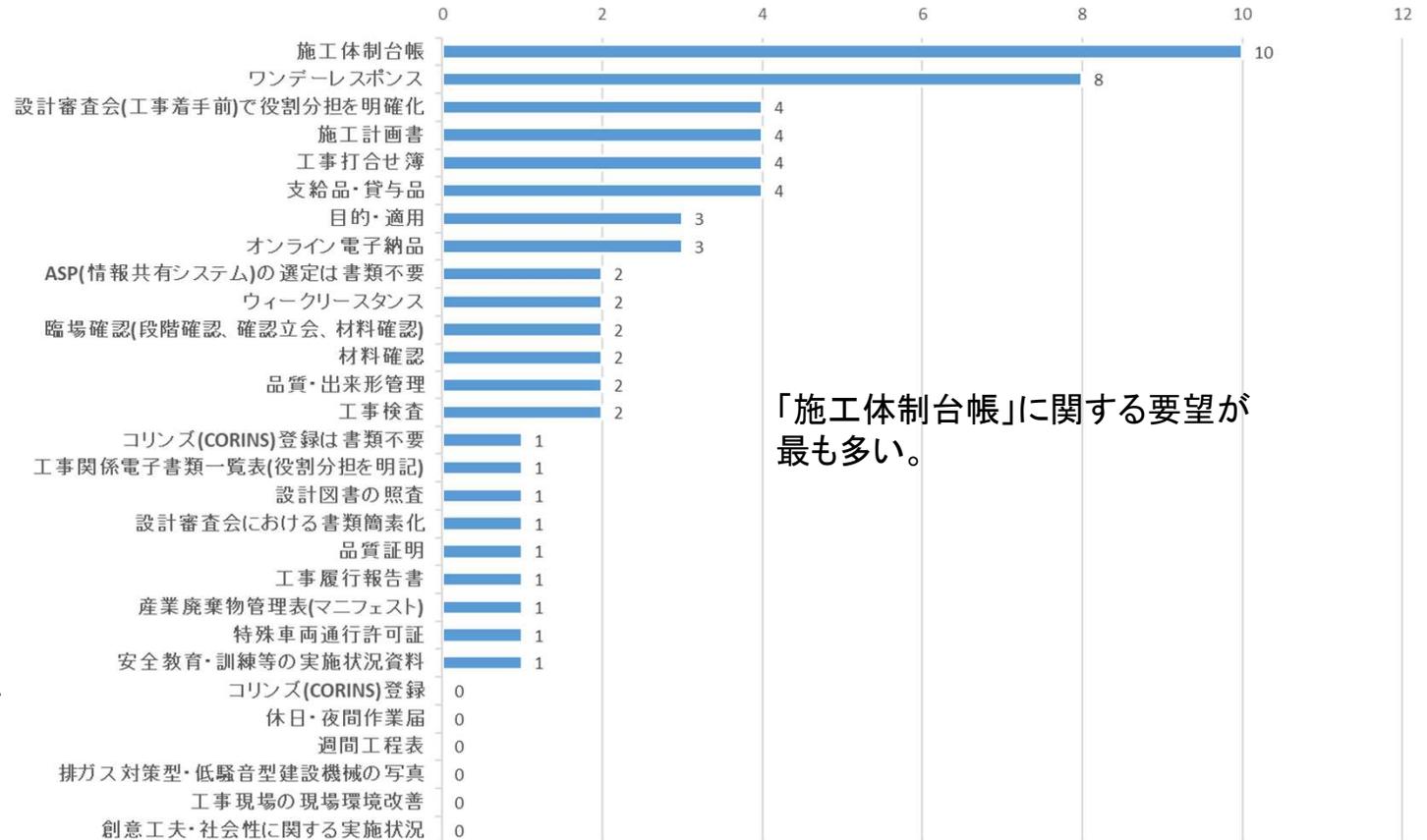
工事書類作成に関する更なる改善要望

スリム化ガイドの各項目に対する要望 (複数回答可) n=71

改善要望はありますか



※具体的な要望内容が記載されていたものを集計しています。



「施工体制台帳」に関する要望が最も多い。

【アンケート結果】

(主な意見)

- ・ワンデーレスポンスの運用についてはなかなか浸透していないように思います。
- ・ウィークリースタンスの運用についてはなかなか浸透していないように思います。
17:00以降、「時間外に失礼します」と断りを入れての携帯電話へ依頼などの連絡が多い。
- ・打ち合わせ時の書類について、なるべく電子書類での打合せを実施したいが、出張所単位でディスプレイを置いてあるところが少ない。
- ・施工体制台帳について、保険証廃止後の対応(提出できるものの例)を記載して欲しい。
- ・設計図書に無い工種で受注者側に図面作成・数量算出を行う場合は計画・図面作成費用を認めて頂きたい。